

目次

. 版下作成プログラムの起動	2
. 版下を作成する	4
. その他の版の作成	7
1. コンディション欄(空欄)	7
2. コンディション欄(結果)	8
3. メタファイルへの出力	9
. レイアウトの調整	12
1. 印刷プレビュー	12
2. ラウンド数、組数とレイアウト	12
. 各種詳細設定	16
1. 項目設定	16
2. 用紙サイズ	17
3. リレー設定	17
4. フォント	18
5. コンディション	20
6. レース選択とレース日時設定画面	23

マット陸上システム 版下作成プログラム

このプログラムは、マット陸上競技大会運営システムと連動して、プログラムやデイリープロ、リザルト集の原稿を簡単に作成することができます。

このプログラムを使用するためには、マット陸上競技大会運営システムで作成されたデータが必要となります。

プログラム原稿やデイリープロ原稿を作成するためには、番組編成が完了している必要があります。また、リザルト集の原稿を作成するためには、記録が入力され競技が完了している必要があります。

データ作成、番組編成、記録入力については、マット陸上競技大会運営システム又はAthle32のマニュアルを参照して下さい。



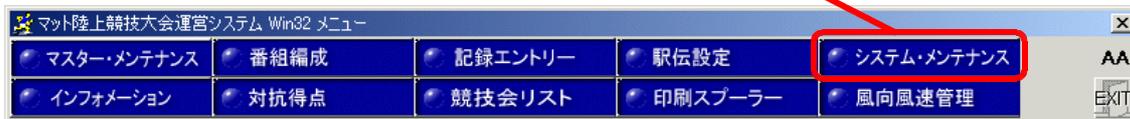
Ⅰ。版下作成プログラムの起動

1. コンピュータを起動し、陸上システムのデータの参照先を指定します。

- 1) コンピュータに電源ケーブルなどが接続されているか確認し、コンピュータの電源を入れます。
*競技会中に競技場のネットワークにログインして作業をする場合、ネットワークケーブルが接続されているか確認してから作業を進めて下さい。
- 2) 競技場備え付けのコンピュータ以外で競技場のネットワークにログインして作業を行う場合、Windowsが完全に起動した後、ネットワークドライブの割り当てを行います。
- 3) Windowsが完全に起動した後に、マット陸上競技大会運営システムメニューが自動的に起動しなかった場合は、デスクトップ上の陸上システムアイコンをダブルクリックしてメニューを起動します。
(《スタート》 - 《プログラム》または《すべてのプログラム》 - 《マット陸上システム》 - 《マット陸上システム・メニュー》からも起動することができます。)

R-CONFIGを設定します。

陸上システムメニューの《システムメンテナンス》をクリック。



管理者パスワードを入力し、《OK》をクリックします。パスワードが正しく入力されると、サブメニューが表示され、その中から《MKRCONF大会設定》をクリックします。

パスワード入力位置



R-CONFIG 設定システム画面が表示されます。

ローカルディスクのデータを参照して版下作成を行う場合



以下のいずれかの方法で設定します。

A. プリセットから選択する

画面中央の「プリセット」欄の《 》をクリックし、あらかじめ登録されている設定を呼び出すことができます。呼び出したいプリセット名を選択して、《呼出》、《設定》の順にクリックして終了します。

B. フォルダの位置をそれぞれ指定する

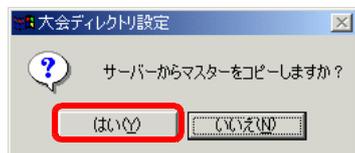
マスター系、ENT系、REL系、プログ系それぞれの右端にある《参照》ボタンをクリックし、データが格納されているフォルダ名を選択します。全てを指定して、《設定》ボタンをクリックして終了します。

ネットワークを使用し、サーバのデータを参照して版下作成を行う場合



画面中央の「プリセット」欄の《 》をクリックし、「ネットワーク」を選択。《呼出》、《設定》の順にボタンをクリックします。

次にサーバからマスターをコピーします。自動的に「大会ディレクトリ設定」画面が表示されたら、必ず《はい》ボタンを選択します。





「処理方法」の「全てをダウンロード」にチェックを付け、《実行》ボタンをクリックします。

「ステータス」欄が全て緑地の「OK」に変われば処理は成功です。

《終了》ボタンをクリックしてメニューに戻ります。

4) 陸上システムのメニューを終了します。

キーボードの【Shift+Ctrl】キーを押しながら【F12】キーを押し、メニューを終了させます。

注) 《EXIT》ボタンをクリックして終了しようとした場合、Windowsが終了してしまうことがあります。

5) 版下作成システムを起動します。

Windowsのスタートメニューから《プログラム》または《全てのプログラム》 - 《マット陸上システム》 - 《版下作成システム (PROG_NEW)》を選択します。



6) 版下作成システムのメイン画面が起動します。

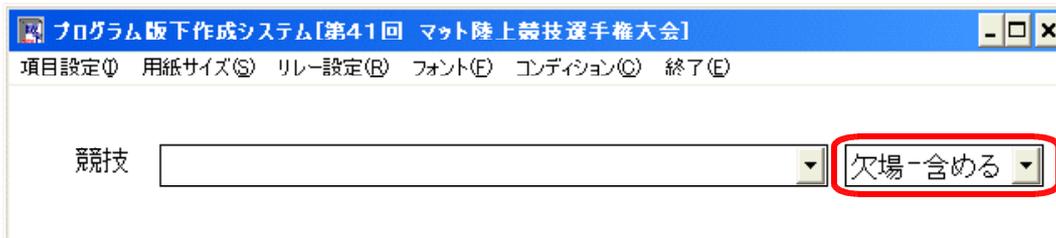


II. 版下を作成する

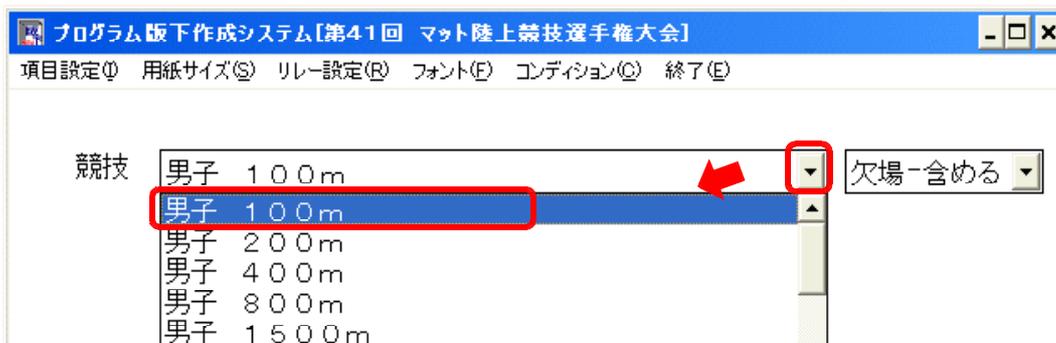
実際に版下を作成してみましょう。

1. 版下を作成したい競技を選択します。

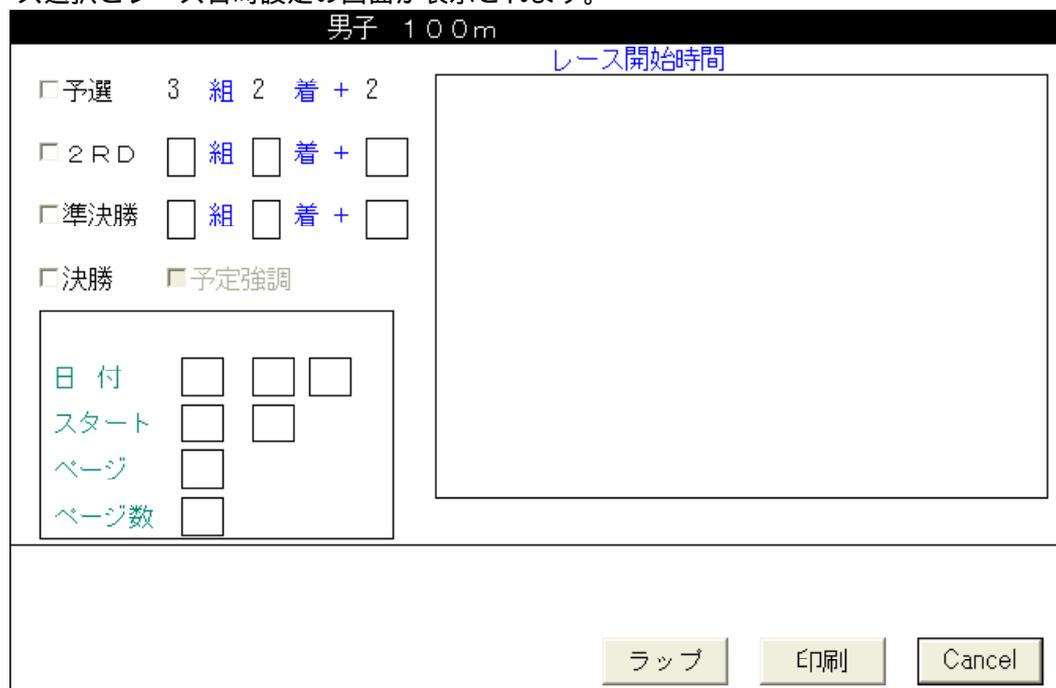
1) これから作成する版下が結果の入ったもの(記録集原稿)の場合、そのリストに欠場者を含めるかどうかを選択します。通常は、「欠場 - 含める」です。変更する場合は、《 》をクリックして「欠場 - 含めない」を選択して下さい。



2) 《 》をクリックして、作成したい競技を表示されたリストから選びます。



3) レース選択とレース日時設定の画面が表示されます。



- 4) 作成したいレースを選択し、開始日時や次ラウンドの枠を作成するかどうかの選択をします。
結果を印刷する場合は、印刷したいラウンドの「」にチェックをつけ、次へ進みます。

例) プログラム原稿 男子 100m 予選 3組 2着 + 2 決勝: 4月1日15:00 を1頁に作成

「 予選 3組 2着 + 2」にチェックを付けます。右側に予選3組分のレース日時が表示されます。

チェックを付ける

男子 100m

予選 3 組 2 着 + 2

2RD 組 着 +

準決勝 組 着 +

決勝 予定強調

レース開始時間

予選	1組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	2組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	3組	7人	04/01	09:30	1P	番組

表示される

決勝8名分の記入欄を作成するために、「 決勝」と「 予定強調」にチェックを付けます。
予定強調にチェックを付けると、決勝の記入欄は表形式となります。付けなかった場合は、下線のみの形式となります。

チェックを付ける

男子 100m

予選 3 組 2 着 + 2

2RD 組 着 +

準決勝 組 着 +

決勝 予定強調

レース開始時間

予選	1組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	2組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	3組	7人	04/01	09:30	1P	番組
決勝	8人	/	:	1P	予定	

表示される

レース開始時間欄に決勝レースが「予定」として表示されます。

決勝レースのレース開始日時を入力します。

- 画面右側レース開始時間欄の「決勝 8人 / : 1p 予定」の行をクリックします。
- 画面左下のレース情報入力位置に日付をYY MM DDの形式(2004年4月1日は04 04 01)で、スタート時刻をHH MMの形式(15:00の場合15 00)で入力します。
- もう一度画面右側のレース開始時間欄の「決勝」をクリックすると、日時が登録されます。

男子 100m

予選 3 組 2 着 + 2

2RD 組 着 +

準決勝 組 着 +

決勝 予定強調

レース開始時間

予選	1組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	2組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	3組	7人	04/01	09:30	1P	番組
決勝	8人	/	:	1P	予定	

.ここをクリック

決勝 8人

日付

スタート

ページ .ここに入力

ページ数

レース開始時間

予選	1組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	2組	7人	04/01	09:30	1P	番組
予選	3組	7人	04/01	09:30	1P	番組
決勝	8人	04/01	15:00	1P	予定	

.ここをもう一度クリック

ラップ Cancel

- 5) 《印刷》ボタンをクリックし、次の画面に進みます。



版下を作成する

- 6) 印刷に関する設定をします。
印刷する項目を選択します。
今回はすべてにチェックを付けます。

マスターマージン（上下余白）
の値を設定します。
標準は10mmです。

1ページ書出し位置の値を
設定します。
この値は、競技のラウンド数と
設定されている出力用歴代記録
コメントの数により変化させる
必要があります。

出力先欄から「プリンター」を選択
します。

使用するプリンターと一致している
かどうか確認します。ここに表示さ
れているプリンタ名は、現在「通常
使うプリンタ」に設定されているプ
リンタが自動的にセットされます。
一時的に変更したい場合は、《プリン
ター設定》ボタンから使いたいプリンタを選択します。

印刷

通しページ開始番号

印刷する項目にチェック

種目タイトル

レース日程

記録リスト

脚注

出力先

プリンター

メタファイル

マスターマージン 10 mm

1ページ書出し位置 35 mm

使用するプリンタを確認

IBM 5587-K02

OK

CANCEL

プリンター設定

- 7) 《OK》ボタンをクリックし、次の画面に進みます。

- 8) 印刷プレビューでレイアウトを確認します。
白い四角の部分为重なり合っていないければ問題ありません。
内容部フォントの値を変更することで、**この部分**のサイズを変更することができます。

印刷プレビュー

微調整

印刷 印刷開始

CANCEL

内容部フォント

X(幅) 17

Y(高さ) 34

現在 1 ページ

<<前頁 次頁>>

- 9) 《印刷》ボタンをクリックすると、プログラム原稿が接続されているプリンタに出力されます。
- 10) 印刷が完了するとレース選択とレース日時設定の画面に戻りますので、《Cancel》をクリックして次の競技を選択します。
- 11) 版下作成プログラムを終了する場合は、版下作成メイン画面まで戻り、《終了》をクリックします。

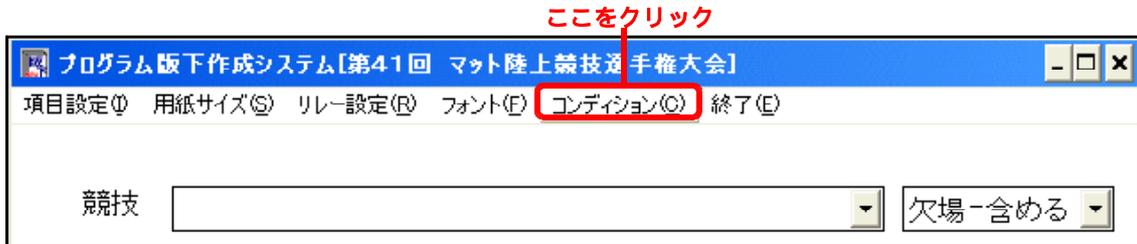


III. その他の版の作成

1. コンディション欄 (空欄)

例)トラック&フィールド用 1日7行×2日間分(14行)のコンディション欄を作成する。
(大会名称付加、サイン欄なし、気圧欄なし)

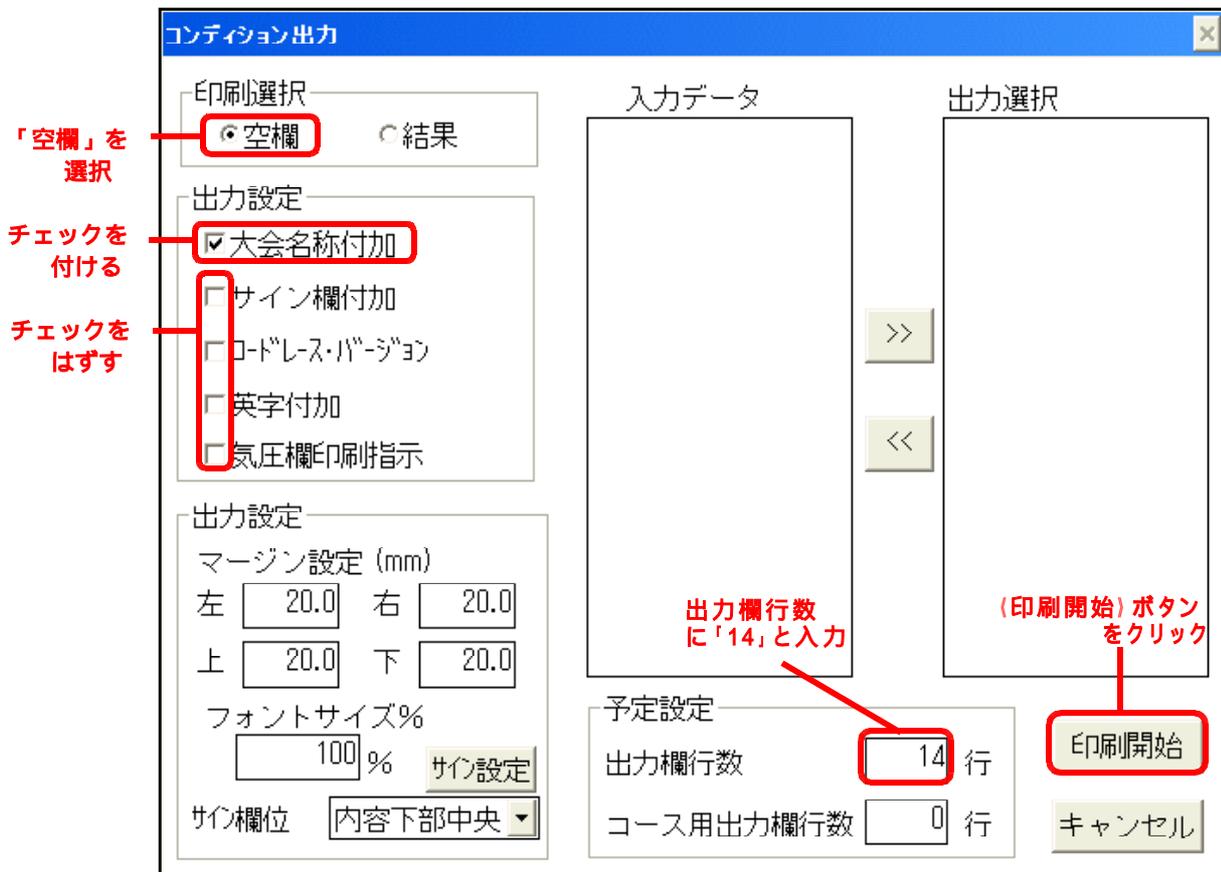
1) 版下作成システムメイン画面上部の《コンディション》メニューをクリックします。



2) コンディション出力設定画面が表示されます。

必要項目にチェックを入れ、予定設定の出力欄行数に「14」と入力します。

(コンディション出力設定画面の詳細については「 .各種詳細設定 5.コンディション」を参照して下さい。)



3) 《印刷開始》ボタンをクリックすると印刷設定画面が表示されます。

「出力先」がプリンターになっていることを確認。
使用するプリンター名が正しいかどうか確認。

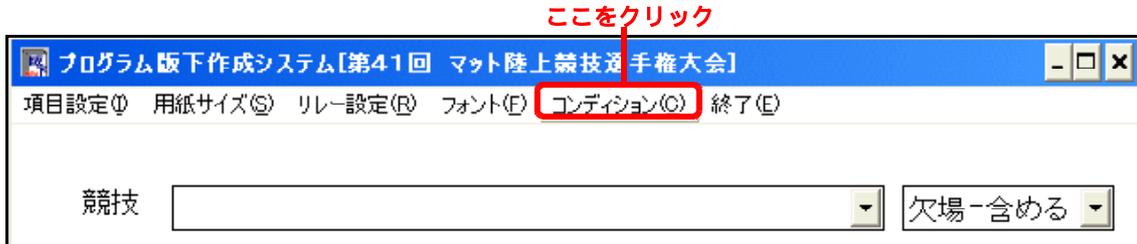
4) 《OK》ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。



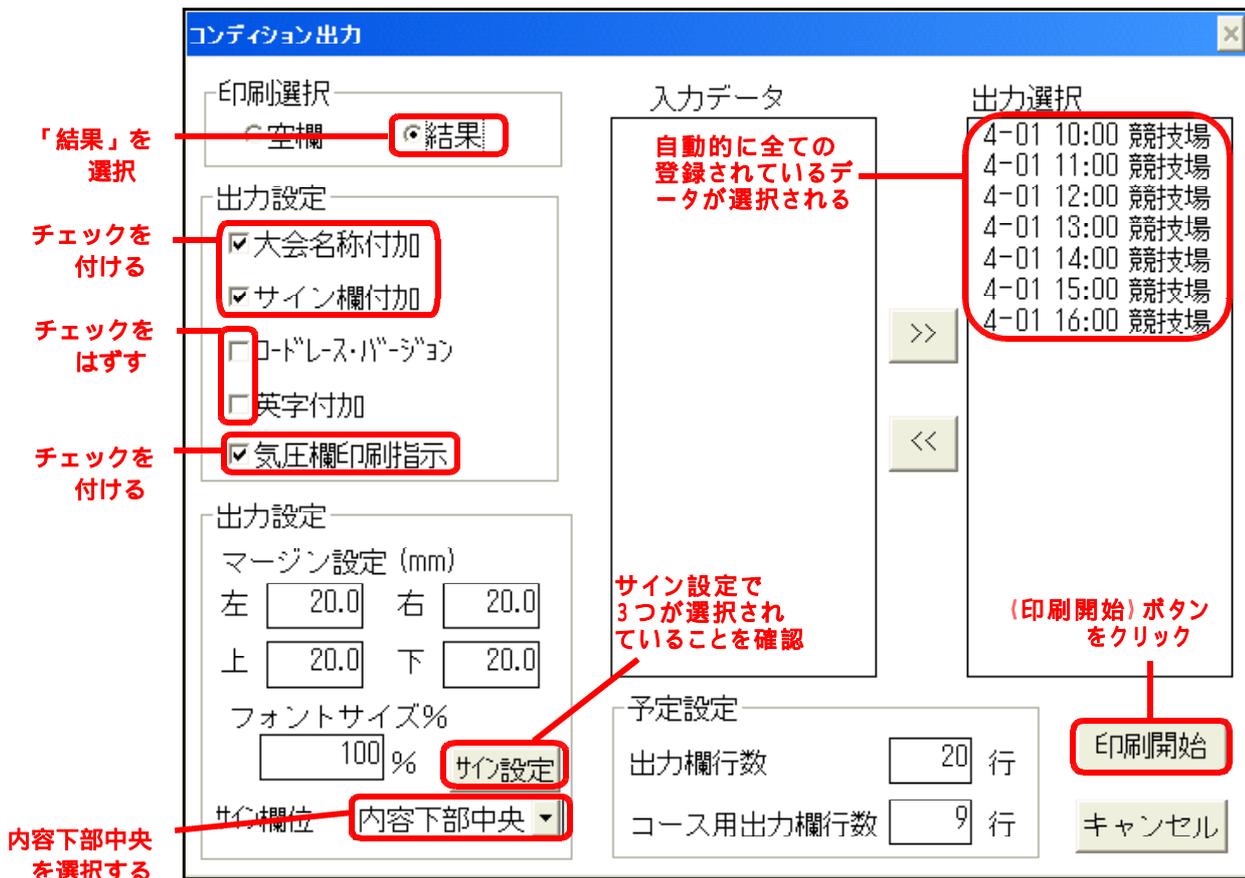
2. コンディション欄 (結果)

例)トラック & フィールド 1日分のコンディション結果を印刷する。
(大会名称付加、サイン欄内容下部中央に付加(総務、審判長、記録主任) 気圧欄あり)

- 1) 陸上システムのコンディションマスターに、1日分のコンディション情報が入力されていることを確認します。
- 2) 版下作成システムを起動し、メイン画面上部の《コンディション》メニューをクリックします。



- 3) コンディション出力設定画面が表示されます。
必要項目にチェックを入れ、サイン欄の位置とサインの設定を行います。また、出力選択欄に1日分のコンディション情報が選択されていることを確認します。
(コンディション出力設定画面の詳細については「 . 各種詳細設定 5. コンディション」を参照して下さい。)



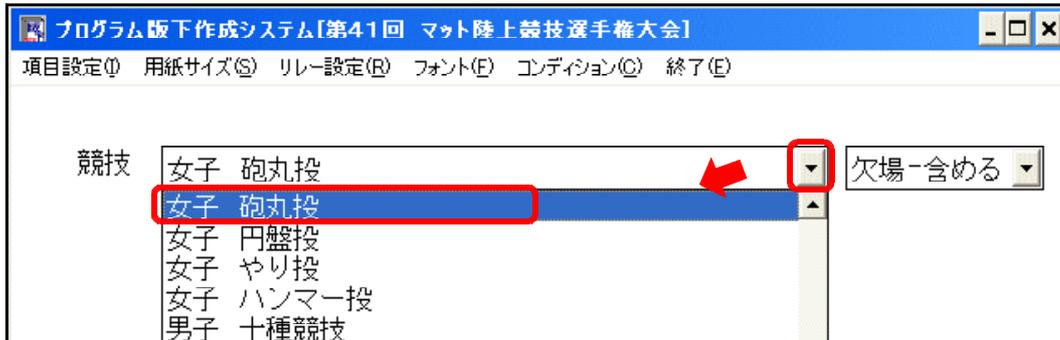
- 3) 《印刷開始》ボタンをクリックすると印刷設定画面が表示されます。
「出力先」がプリンターになっていることを確認。
使用するプリンター名が正しいかどうか確認。
- 4) 《OK》ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。



3.メタファイルへの出力

出力先を「プリンタ」ではなく、「メタファイル」にすることで、Windowsメタファイル¹として保存することができます。この機能を使用して作成したメタファイルは、Microsoft社のWordやExcelなどに「図」として挿入することができます。

1)《 》をクリックして、作成したい競技を表示されたリストから選びます。



2) レース選択とレース日時設定の画面が表示されます。

印刷したいラウンドの「 」にチェックを付けると、画面右側のレース開始時間欄にレースが表示されます。レースが「予定」の場合は、レース開始日時を設定します。また、複数ページにわたる場合は、ページの設定を行います（詳細は「 .各種詳細設定 6.レース選択とレース日時設定画面」を参照して下さい）。



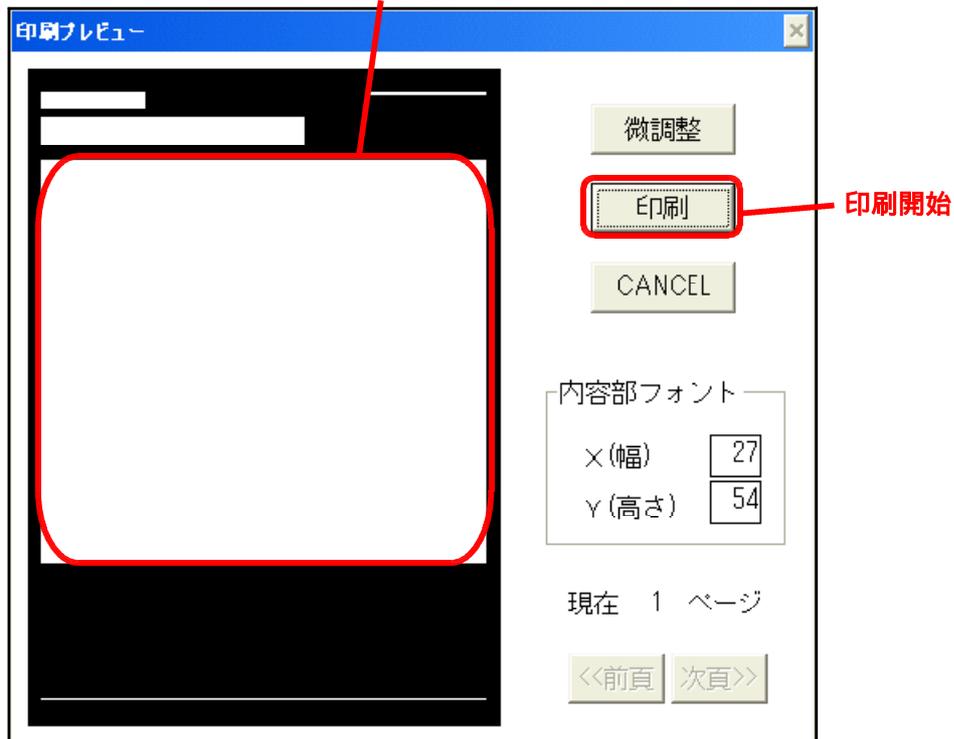
3) 《印刷》 ボタンをクリックし、次の画面に進みます。

*1Windowsメタファイル

Windowsメタファイルとは、Windows標準ベクトル形式の画像で、Windowsならではのファイル形式で、ベクトルデータ・ビットマップ画像・テキスト及びフォント情報を含むことが出来ます。



- 6) 印刷プレビューでレイアウトを確認します。
白い四角の部分が重なり合っていないければ問題ありません。
内容部フォントの値を変更することで、この部分のサイズを変更することができます。



- 7) 《印刷》ボタンをクリックすると、5) で指定した保存先にファイルが作成されます。
- 8) 保存が完了するとレース選択とレース日時設定の画面に戻りますので、《Cancel》をクリックして次の競技を選択します。

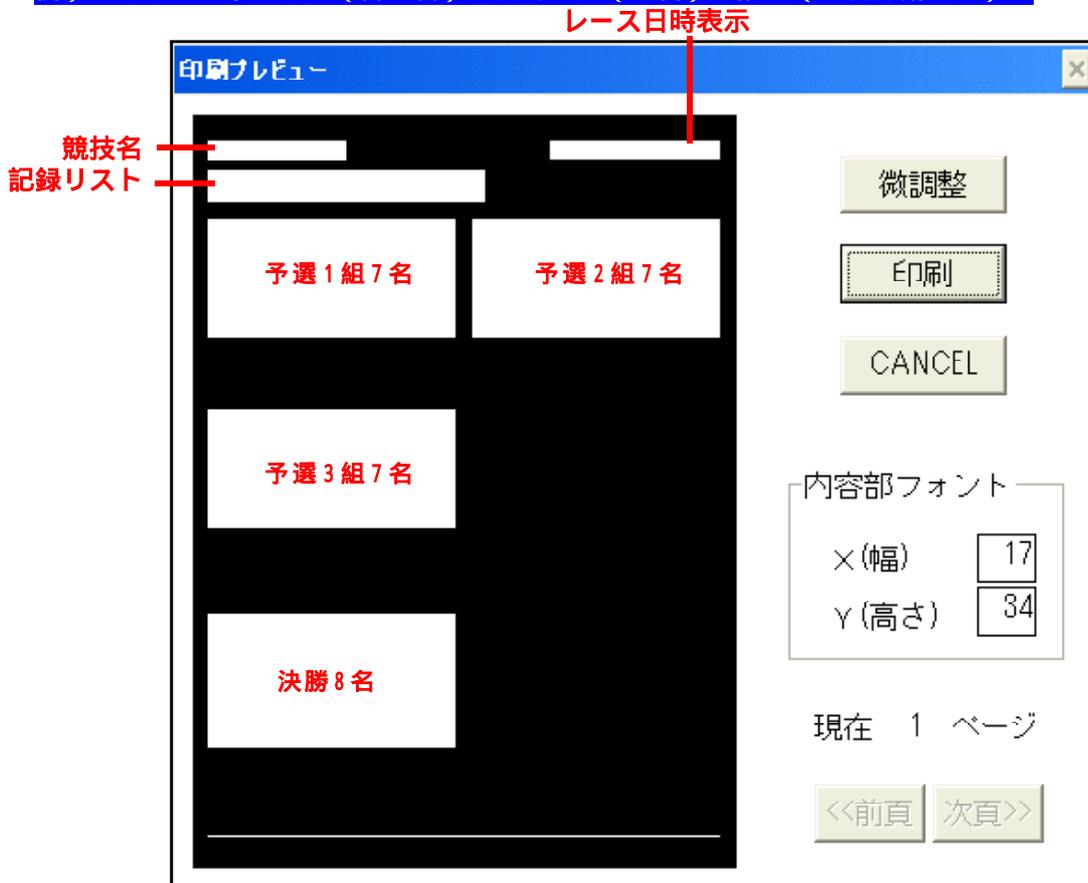
メタファイル作成は、コンディション欄を印刷する場合にも選択することができます。
コンディション出力設定画面で《印刷開始》ボタンをクリックすると、印刷設定画面が表示されますので、出力先を「メタファイル」にして《印刷》ボタンをクリックするとメタファイルの保存先を指定する画面になります。ファイル名を指定して、《保存》ボタンをクリックすると、メタファイルが作成されます。



IV. レイアウトの調整

1. 印刷プレビュー

印刷設定画面で《OK》ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面になります。
この画面では、各項目の配置位置を画面で確認しながら各項目の配置位置を変更することができます。
例) 100m 予選3組(各7名)と決勝1組(8名)の配置(左右分割あり)

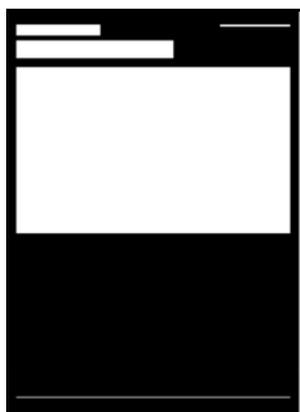


上図の通り、ラウンド数、記録リスト数、組数や人数によって自動的にレイアウトが決まり、使用するプリンタの解像度によって内容部フォントの値が決まります。内容部フォントの値を直接入力して変更することも可能ですが、変更した場合は「X(幅)」の値の2倍の値を「Y(高さ)」に設定して下さい。この割合を間違えると文字が縦長や横長になったりします。

2. ラウンド数、組数とレイアウト

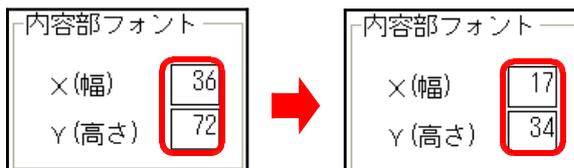
1) ラウンド数、組数、人数が少ない場合のレイアウト

少ないラウンド数(例えば決勝のみ)や、少ない組数(1組のみなど)、少ない人数(フィールド競技決勝で8名のみ)といった場合、自動的にレイアウトが決まりますが、用紙サイズいっぱい印刷しようとするため内容部フォントが非常に大きな値に設定されてしまいます。



長距離種目決勝10名の場合

横幅が最大のところまで大きくなっている。



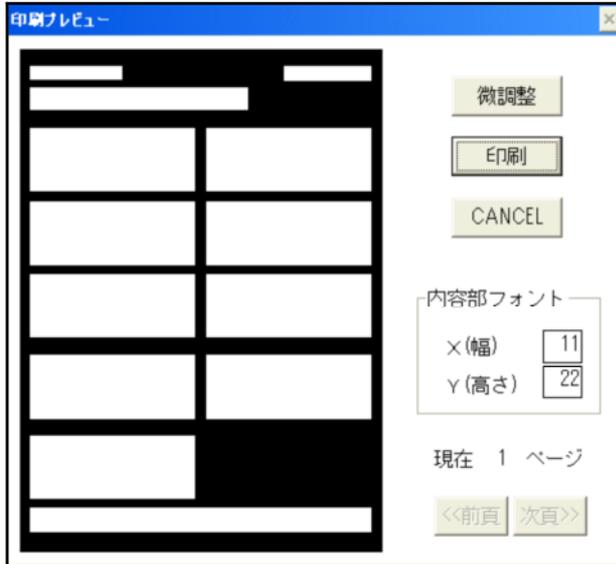
他の競技と文字の大きさを統一するのであれば、このようなときは内容部フォントX、Yにいつも同じ値を入力するようにします。
例えば、今回の場合なら、最初に示した100mの例の内容部フォントと同じ値をここに入力することで、同じ文字の大きさのものができます。
注) フォントサイズ変更後レイアウトには反映されませんが印刷は正しく出力されます。



2) ラウンド数、組数、人数が多い場合のレイアウト

1) の場合とは逆に、出場人数も組数も多いような場合、一種目が2ページ、3ページにわたる場合があります。

例) 800m予選6組(各組8名)、準決勝2組、決勝1組(ラップタイム欄あり)の場合



全てのレースのページを1ページで印刷すると左図のようになり、その内容部フォントは、
X(幅) 11
Y(高さ) 22
と自動的にセットされます。

一見1ページに収まって見栄えがいいように見えますが、下図の印刷結果を見ると文字が小さく、組の右側に大きな余白ができてしまいます。

内容部フォント X=11,Y=22で印刷した結果

予選(6組2着+4)				2組			
レースNo.	氏名	所属	順位(ラップ)記録	レースNo.	氏名	所属	順位(ラップ)記録
2	小島 基広	大阪-NTT西日本大阪	1() : ()	2	古川 博	大阪-NTT西日本大阪	1() : ()
3	245 山田 祥太	東 都-大阪体育大	2() : ()	3	270 青木 博	大阪-NTT西日本大阪	2() : ()
4	504 藤田 成文	奈良-大阪府立大	3() : ()	4	28 高橋 和	大阪-NTT西日本大阪	3() : ()
5	240 白田 慎吾	東 都-中央大	4() : ()	5	555 梶原 崇	大阪-NTT西日本大阪	4() : ()
6	443 斎藤 雄太郎	大阪-大阪府立大	5() : ()	6	540 藤井 大	大阪-NTT西日本大阪	5() : ()
7	404 井上 翼志	大阪-大阪ガス	6() : ()	7	555 藤川 裕	大阪-NTT西日本大阪	6() : ()
8	212 津路 圭一	東 都-菅崎クラブ	7() : ()	8	1004 藤村 智	大阪-NTT西日本大阪	7() : ()
9	55 高見 尊	滋 賀-大阪経済大	8() : ()	9	527 前本 剛	大阪-NTT西日本大阪	8() : ()

解決策 準決勝、決勝を2ページ目に印刷する。

2ページ目に印刷するためには、設定の段階で2ページ目を指定しなければなりません。



レース選択とレース日時設定画面で2ページ目に印刷したいレースの「ページ」の項目の値を「2」にすることで2ページ目に印刷されるようになります。

詳しい説明は、『各種詳細設定 6. レース選択とレース日時設定画面』を参照して下さい。

内容部フォント X=17,Y=34で印刷した結果

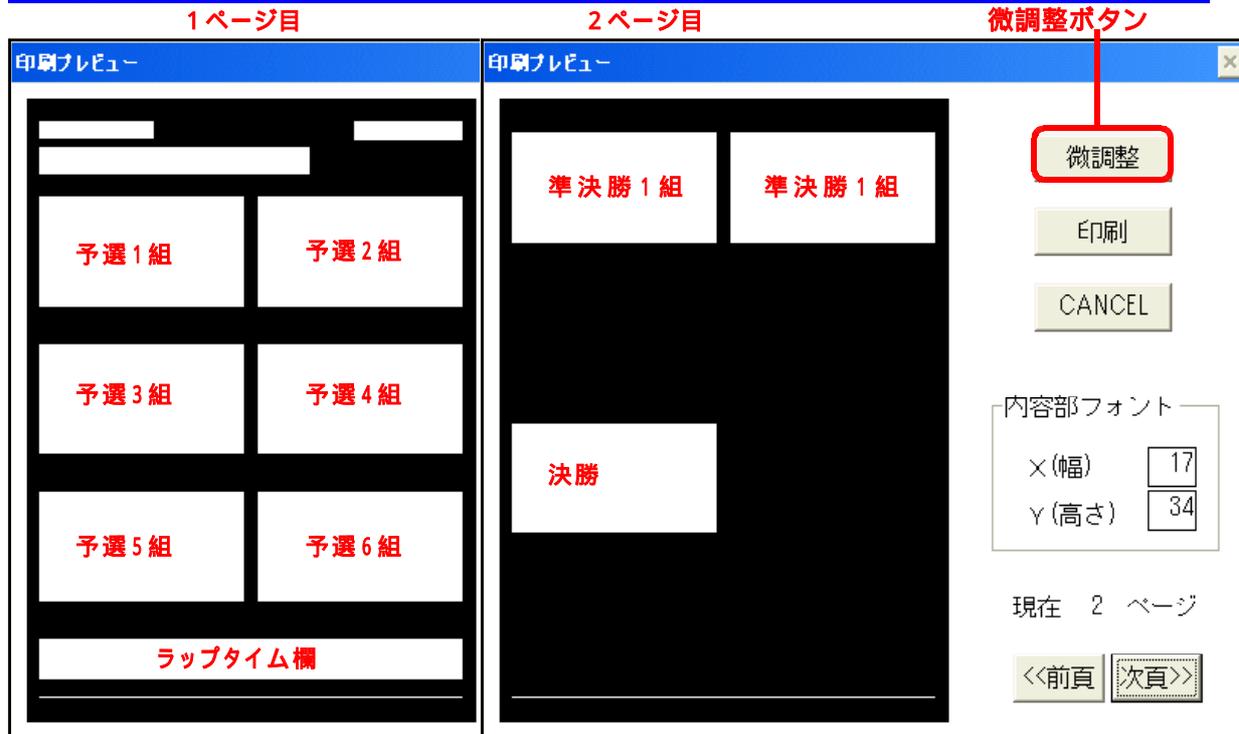
予選(6組2着+4)				2組			
レースNo.	氏名	所属	順位(ラップ)記録	レースNo.	氏名	所属	順位(ラップ)記録
2	555 小島 基広	大阪-NTT西日本大阪	1() : ()	3	270 青木 博	大阪-NTT西日本大阪	2() : ()
3	245 山田 祥太	東 都-大阪体育大	2() : ()	4	28 高橋 和	大阪-NTT西日本大阪	3() : ()
4	504 藤田 成文	奈良-大阪府立大	3() : ()	5	555 梶原 崇	大阪-NTT西日本大阪	4() : ()
5	240 白田 慎吾	東 都-中央大	4() : ()	6	540 藤井 大	大阪-NTT西日本大阪	5() : ()
6	443 斎藤 雄太郎	大阪-大阪府立大	5() : ()	7	555 藤川 裕	大阪-NTT西日本大阪	6() : ()
7	404 井上 翼志	大阪-大阪ガス	6() : ()	8	1004 藤村 智	大阪-NTT西日本大阪	7() : ()
8	212 津路 圭一	東 都-菅崎クラブ	7() : ()	9	527 前本 剛	大阪-NTT西日本大阪	8() : ()
9	55 高見 尊	滋 賀-大阪経済大	8() : ()				



3) 微調整

自動的に配置された各レースの位置を、マニュアルで任意の位置に移動することができます。

例) 800m予選6組(各組8名) 準決勝2組、決勝1組(ラップタイム欄あり)を2ページに印刷した場合



2ページ目に準決勝2組と決勝を印刷する設定にした場合、上図のように1ページ目は組数とラップタイム欄がちょうどよい配置になっているのに対し、2ページ目は配置する項目が少ないため、上部と中央に自動的に配置されてしまいます。

2ページ目の準決勝の位置を下げ、決勝の位置を少し上げる。1ページ目の予選1組2組の開始位置と準決勝の開始位置を揃え、予選3組4組の開始位置と決勝の開始位置を揃える。

《微調整》ボタンをクリックし、座標のマニュアル修正ウインドウを表示します。

最初に、準決勝1組の位置を調整します。

「各レース及びラップの範囲」から「7レース 2P」を選択します。

画面右側の座標修正位置に現在の座標が表示されます。



開始Yの値を「214」から予選1組「1レース 1P」のYの値と同じ「639」に変更します。すると、自動的に終了Yの値が変化します。これで、準決勝1組は予選1組と同じ開始位置に移動しました。同様に、準決勝2組「8レース 2P」を選択して、開始Yの値を同じく「639」に変更します。

準決勝1組と予選1組の開始Yを同じにする
 準決勝2組と予選2組の開始Yを同じにする
 最後に、決勝「9レース 2P」を選択し、開始Yの値を予選3組「3レース 1P」と同じにします。
 以上、変更ができれば、《更新》ボタンをクリックすると印刷プレビュー画面に戻ります。

このような微調整によるマニュアル位置操作を行うことで、思い通りのレイアウトの原稿を作成することができます。

補足説明

マニュアル操作でそれぞれの位置を変更したレイアウト状態を保存しておき、別の競技で同じ組数の場合に保存しておいたレイアウトを呼び出してレイアウトを変更することができます。

<1>マニュアル操作で開始位置を変更した後、画面下部にあるレイアウトファイル名入力欄任意の名前を付け、《保存》ボタンをクリックして保存します。

組構成のわかりやすいファイル名がよい

<2>呼び出す場合は、ファイル名入力欄の右横にある《 》をクリックし、表示されたリストから呼び出したいパターンを選択します。

<3>《呼出》ボタンをクリックすると、各レース及びラップの範囲欄の値が保存していた内容に変わります。

保存してあるパターンから選ぶ

7レース 2P (85, 214)-(1375, 933)	7レース 2P (85, 639)-(1375,1358)
8レース 2P (1459, 214)-(2749, 933)	8レース 2P (1459, 639)-(2749,1358)
9レース 2P (85,2113)-(1375,2832)	9レース 2P (85,1717)-(1375,2436)



V. 各種詳細設定

詳細設定の各項目について解説します。

1. 項目設定

項目設定では、各項目の桁数や印刷する項目、余白などについて設定することができます。

1) 氏名

氏名の桁数を設定します。
半角文字を1桁として設定します。
(全角文字の場合は1文字で2桁となります。)
氏名の後ろに生まれ西暦年や学年を入力している場合、その桁数も含めた値を設定して下さい。

2) 所属

所属団体の略称の最大桁数を設定します。
氏名同様、半角文字を1桁として設定します。
(全角文字の場合は1文字で2桁となります。)

3) ナンバー

ナンバーカードの最大桁数。標準は4桁。

4) 脚注高

印刷された用紙の最下部に印刷されるコメント欄の開始高さ。用紙最下部より何ミリ。

5) 開始レーン

まだ番組されていないラウンドの記入欄を印刷する際の開始レーン番号。

6) 各種チェック項目

- ・読み仮名 ... よみがなを付けるかどうか。
- ・出場資格記録 ... プログラム原稿を印刷する際に各個人の出場資格記録を印刷するかどうか。
- ・トラック・左右分割 ... この項目にチェックを付けると、トラック競技の場合、右側の部分の空間を利用して、下図のように左右交互に組を配置していきます。

予選 (3組2着+2)				2組			
L-r No.	氏名	所属/出場記録	風 (+/-)	L-r No.	氏名	所属/出場記録	風 (+/-)
1	97 佐藤 直也	鳥取大学	1	2	503 田中 雄平	大阪大学	1
2	80 北村 謙	鳥取大学	2	3	515 山口 浩樹	鳥取大学	2
4	403 藤原 悠太	大阪大学	3	4	542 石野 寛太	鳥取大学	3
5	4024 高橋 誠介	和歌山大学	4	5	557 杉本 竜也	鳥取大学	4
6	88 杉村 健太	鳥取大学	5	6	304 佐野 貴之	新潟大学	5
7	544 辻野 尚也	鳥取大学	6	7	513 岡野 真	鳥取大学	6
8	442 松山 健	大阪大学	7	8	237 吉川 健介	鳥取大学	7

- ・生まれ西暦年付加 ... 氏名の後ろに生まれ西暦年「(80)」や学年「(1)」などを付けた場合、これを印刷するかどうかの設定です。
- ・前ラウンドにQ, qを付加 ... 結果を印刷する場合の次ラウンド進出者にQまたはqを付けるかどうかの設定です。Qは着どりで次ラウンドに進出した者、qはプラスで次ラウンドに進出した者に付けられます。
- ・前ラウンドの記録を使用 ... デイリープロなど予選以降のラウンドの番組編成を印刷する場合、参考記録の欄に、前ラウンドの記録を印刷するか、エントリー時の資格記録を印刷するかを選択することができます。チェックを付けると前ラウンドの記録を印刷します。

7) ページ最大行数の設定

1ページの最大行数を設定します。設定は、1ページ目と2ページ目以降に分かれています(1ページ目はヘッダ領域が必要となるため、本文の部分が2ページ目以降よりも少し小さくなります)。2ページ目以降は、ページが2ページ以上に渡った場合に有効となります。

設定が終われば、《OK》をクリックすることで、設定を保存して終了します。

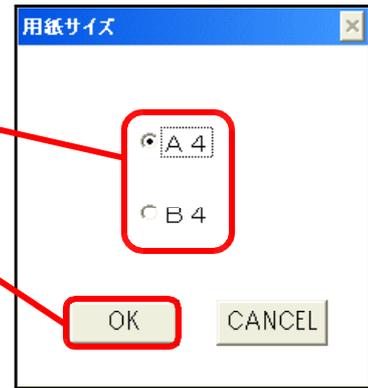


2.用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

A 4またはB 4が選択でき、選択したい方のチェックボックスにチェックをつけます。

設定が終われば、《OK》をクリックすることで、設定を保存して終了します。



3.リレー設定

リレー競技に関する印刷項目の設定をします。

都道府県名 (チーム)

リレーチーム名の右隣に、チームの都道府県名を付けます。

所属団体名 (個人)

個人氏名の右隣に、一人一人所属団体名を付けます。
チームの編成が所属団体ごとでない場合に使用します。

都道府県名 (個人)

個人氏名の右隣に、各個人の登録陸協名を付けます。

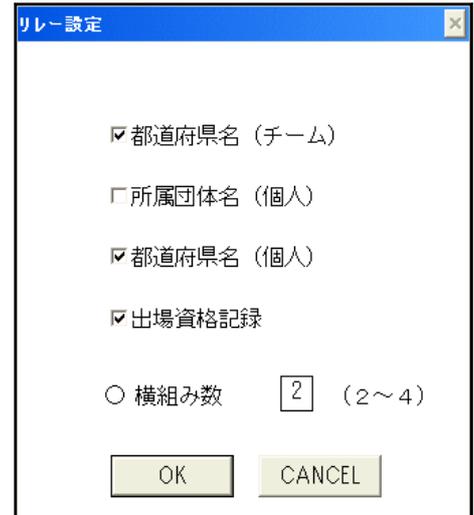
出場資格記録

データ作成時に登録したリレーの出場資格記録を印刷します。
リレーチーム名の右隣につきます。

横組み数

横方向に何チーム配置するかを設定します。

所属団体名 (個人) や都道府県名 (個人) を付けた場合、横組み数を大きな値に設定すると、文字が小さくなりすぎる場合があります。



設定が終われば、《OK》をクリックすることで、設定を保存して終了します。

横組み数... 2の場合

男子 4×100m				予 選(4-1+4)		4月1日 13:30	
日本記録(WR) 38秒31 井上・伊東・土江・朝原(日)				本 1997			
近畿記録(OR) 40秒00 前田・山村・吉田・朝原(大)				阪・大阪 1997			
大会記録(OR) 40秒95 松本・平澤木・小野・石田(大阪体育大・大阪)				1993(81回)			
予 選(4組1着+4)							
1組							
501	佐々木 功	502	伊藤 大	503	山崎 大	504	山崎 大
502	山崎 大	503	山崎 大	504	山崎 大	505	山崎 大
503	山崎 大	504	山崎 大	505	山崎 大	506	山崎 大
504	山崎 大	505	山崎 大	506	山崎 大	507	山崎 大
505	山崎 大	506	山崎 大	507	山崎 大	508	山崎 大
506	山崎 大	507	山崎 大	508	山崎 大	509	山崎 大
507	山崎 大	508	山崎 大	509	山崎 大	510	山崎 大
508	山崎 大	509	山崎 大	510	山崎 大	511	山崎 大
509	山崎 大	510	山崎 大	511	山崎 大	512	山崎 大
510	山崎 大	511	山崎 大	512	山崎 大	513	山崎 大
511	山崎 大	512	山崎 大	513	山崎 大	514	山崎 大
512	山崎 大	513	山崎 大	514	山崎 大	515	山崎 大
513	山崎 大	514	山崎 大	515	山崎 大	516	山崎 大
514	山崎 大	515	山崎 大	516	山崎 大	517	山崎 大
515	山崎 大	516	山崎 大	517	山崎 大	518	山崎 大
516	山崎 大	517	山崎 大	518	山崎 大	519	山崎 大
517	山崎 大	518	山崎 大	519	山崎 大	520	山崎 大
518	山崎 大	519	山崎 大	520	山崎 大	521	山崎 大
519	山崎 大	520	山崎 大	521	山崎 大	522	山崎 大
520	山崎 大	521	山崎 大	522	山崎 大	523	山崎 大
521	山崎 大	522	山崎 大	523	山崎 大	524	山崎 大
522	山崎 大	523	山崎 大	524	山崎 大	525	山崎 大
523	山崎 大	524	山崎 大	525	山崎 大	526	山崎 大
524	山崎 大	525	山崎 大	526	山崎 大	527	山崎 大
525	山崎 大	526	山崎 大	527	山崎 大	528	山崎 大
526	山崎 大	527	山崎 大	528	山崎 大	529	山崎 大
527	山崎 大	528	山崎 大	529	山崎 大	530	山崎 大
528	山崎 大	529	山崎 大	530	山崎 大	531	山崎 大
529	山崎 大	530	山崎 大	531	山崎 大	532	山崎 大
530	山崎 大	531	山崎 大	532	山崎 大	533	山崎 大
531	山崎 大	532	山崎 大	533	山崎 大	534	山崎 大
532	山崎 大	533	山崎 大	534	山崎 大	535	山崎 大
533	山崎 大	534	山崎 大	535	山崎 大	536	山崎 大
534	山崎 大	535	山崎 大	536	山崎 大	537	山崎 大
535	山崎 大	536	山崎 大	537	山崎 大	538	山崎 大
536	山崎 大	537	山崎 大	538	山崎 大	539	山崎 大
537	山崎 大	538	山崎 大	539	山崎 大	540	山崎 大
538	山崎 大	539	山崎 大	540	山崎 大	541	山崎 大
539	山崎 大	540	山崎 大	541	山崎 大	542	山崎 大
540	山崎 大	541	山崎 大	542	山崎 大	543	山崎 大
541	山崎 大	542	山崎 大	543	山崎 大	544	山崎 大
542	山崎 大	543	山崎 大	544	山崎 大	545	山崎 大
543	山崎 大	544	山崎 大	545	山崎 大	546	山崎 大
544	山崎 大	545	山崎 大	546	山崎 大	547	山崎 大
545	山崎 大	546	山崎 大	547	山崎 大	548	山崎 大
546	山崎 大	547	山崎 大	548	山崎 大	549	山崎 大
547	山崎 大	548	山崎 大	549	山崎 大	550	山崎 大
548	山崎 大	549	山崎 大	550	山崎 大	551	山崎 大
549	山崎 大	550	山崎 大	551	山崎 大	552	山崎 大
550	山崎 大	551	山崎 大	552	山崎 大	553	山崎 大
551	山崎 大	552	山崎 大	553	山崎 大	554	山崎 大
552	山崎 大	553	山崎 大	554	山崎 大	555	山崎 大
553	山崎 大	554	山崎 大	555	山崎 大	556	山崎 大
554	山崎 大	555	山崎 大	556	山崎 大	557	山崎 大
555	山崎 大	556	山崎 大	557	山崎 大	558	山崎 大
556	山崎 大	557	山崎 大	558	山崎 大	559	山崎 大
557	山崎 大	558	山崎 大	559	山崎 大	560	山崎 大
558	山崎 大	559	山崎 大	560	山崎 大	561	山崎 大
559	山崎 大	560	山崎 大	561	山崎 大	562	山崎 大
560	山崎 大	561	山崎 大	562	山崎 大	563	山崎 大
561	山崎 大	562	山崎 大	563	山崎 大	564	山崎 大
562	山崎 大	563	山崎 大	564	山崎 大	565	山崎 大
563	山崎 大	564	山崎 大	565	山崎 大	566	山崎 大
564	山崎 大	565	山崎 大	566	山崎 大	567	山崎 大
565	山崎 大	566	山崎 大	567	山崎 大	568	山崎 大
566	山崎 大	567	山崎 大	568	山崎 大	569	山崎 大
567	山崎 大	568	山崎 大	569	山崎 大	570	山崎 大
568	山崎 大	569	山崎 大	570	山崎 大	571	山崎 大
569	山崎 大	570	山崎 大	571	山崎 大	572	山崎 大
570	山崎 大	571	山崎 大	572	山崎 大	573	山崎 大
571	山崎 大	572	山崎 大	573	山崎 大	574	山崎 大
572	山崎 大	573	山崎 大	574	山崎 大	575	山崎 大
573	山崎 大	574	山崎 大	575	山崎 大	576	山崎 大
574	山崎 大	575	山崎 大	576	山崎 大	577	山崎 大
575	山崎 大	576	山崎 大	577	山崎 大	578	山崎 大
576	山崎 大	577	山崎 大	578	山崎 大	579	山崎 大
577	山崎 大	578	山崎 大	579	山崎 大	580	山崎 大
578	山崎 大	579	山崎 大	580	山崎 大	581	山崎 大
579	山崎 大	580	山崎 大	581	山崎 大	582	山崎 大
580	山崎 大	581	山崎 大	582	山崎 大	583	山崎 大
581	山崎 大	582	山崎 大	583	山崎 大	584	山崎 大
582	山崎 大	583	山崎 大	584	山崎 大	585	山崎 大
583	山崎 大	584	山崎 大	585	山崎 大	586	山崎 大
584	山崎 大	585	山崎 大	586	山崎 大	587	山崎 大
585	山崎 大	586	山崎 大	587	山崎 大	588	山崎 大
586	山崎 大	587	山崎 大	588	山崎 大	589	山崎 大
587	山崎 大	588	山崎 大	589	山崎 大	590	山崎 大
588	山崎 大	589	山崎 大	590	山崎 大	591	山崎 大
589	山崎 大	590	山崎 大	591	山崎 大	592	山崎 大
590	山崎 大	591	山崎 大	592	山崎 大	593	山崎 大
591	山崎 大	592	山崎 大	593	山崎 大	594	山崎 大
592	山崎 大	593	山崎 大	594	山崎 大	595	山崎 大
593	山崎 大	594	山崎 大	595	山崎 大	596	山崎 大
594	山崎 大	595	山崎 大	596	山崎 大	597	山崎 大
595	山崎 大	596	山崎 大	597	山崎 大	598	山崎 大
596	山崎 大	597	山崎 大	598	山崎 大	599	山崎 大
597	山崎 大	598	山崎 大	599	山崎 大	600	山崎 大

都道府県名 (チーム)

拡大図

4レーン	太成高	大阪	40.9
() 502	金田 和志喜	カネダ カズキ	大阪 太成高
() 503	才内 朝雄	サイノウ アサヒ	大阪 太成高
() 504	後藤 厚人	ゴトウ ヒロト	大阪 太成高
() 505	佐伯 多佳也	サエキ タカヤ	大阪 太成高
() 506	寺山 誠二	テラヤマ セイジ	大阪 太成高
() 507	六間口 瑠樹	ロクガングチ ルキ	大阪 太成高

出場資格記録

所属団体名 (個人)

都道府県名 (個人)

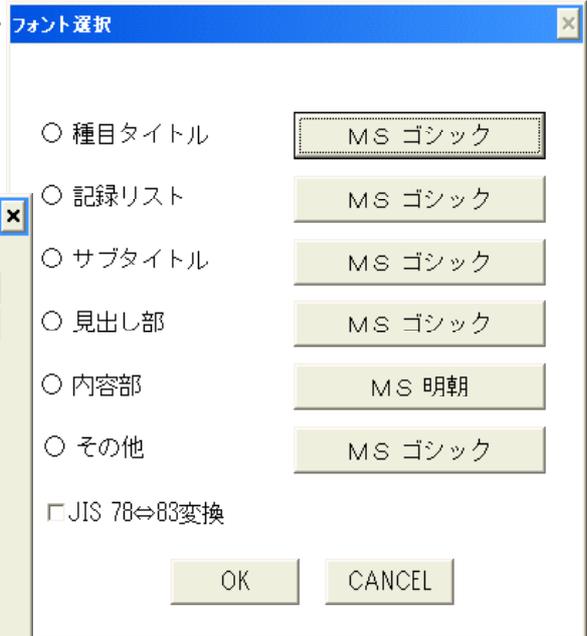
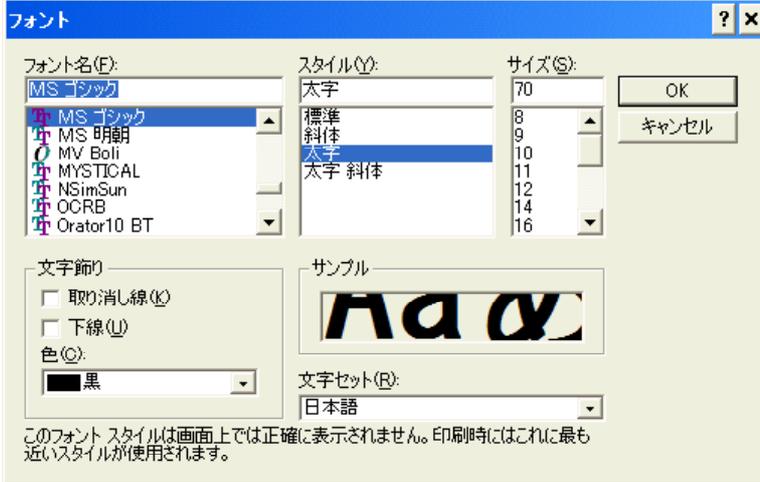


4. フォント

文字のフォントを任意のものに変更することができます。

各項目とも、フォント名、フォントスタイル、文字サイズ、文字飾り（取り消し線・下線・色）文字セットについて設定することができます。

フォント設定詳細画面 設定したい値を選択します。



種目タイトル

「男子 100m」などの種目名部分のフォント。

記録リスト

「大会記録(GR) 10.20 田中 芳雄 大阪体育大 1996」などの歴代記録項目のフォント。
コンディション印刷では、大会名称・主催・協賛・競技場などの情報欄のフォント。

サブタイトル

ラウンド名と組名部分、風力を計測するトラック種目での風記入欄のフォント。

見出し部

「レーン No. 氏名 所属 順位(ナバ-)記録」部分と右上部分に印刷されるのレース日付、最下部に印刷される凡例、コメントのフォント。

内容部

選手に関する情報、記録部分のフォント。

その他

コンディション情報を印刷する際のサイン欄部分のフォント。

JIS 78 83変換

旧JIS(78年度版)と新JIS(83年度版)の変換を行うかどうかの設定です。78年度版と83年度版では、文字の追加、文字コードの一部変更、字形の一部変更が行われています。チェックを付けると変換が行われます。例) 諫早(旧JIS第1水準) 諫早(新JIS第1水準)

トラック競技印刷例

種目タイトル 記録リスト 見出し部

男子 100m 予選(3-2+2) 4月1日 9:30
決勝 4月1日 15:00

日本記録(NR) 10.00 伊東 浩司(富士通・神奈川) 1998
近畿記録(KR) 10.08 朝原 宣治(大阪ガス・大阪) 1997
大会記録(GR) 10.36 河津 崇雄(富士通・京都) 1999(67回)

サブタイトル: 予選(3組2着+2)

見出し部: 1組 風:+/- 2組 風:+/-

レーン No.	氏名	所属/資格記録	順位(ナバ-)記録	レーン No.	氏名	所属/資格記録	順位(ナバ-)記録
2	97 辻田 尚志	徳島/東大津高	1()	2	529 田中 洋平	大阪/大阪教育大	1()
3	90 木下 謙	徳島/東徳大	2()	3	516 森口 佳明	奈良/関西外国語大	2()
4	408 日南 敬夫	大阪/大阪工. 大	3()	4	545 吉田 夏史	兵庫/関西学院大	3()
5	1001 長川 隆介	和歌山/大阪体育大	4()	5	597 松坂 竜佳	兵庫/神戸国際大	4()
6	55 松村 隆也	徳島/龍谷大	5()	6	304 佐野 貴彦	京都/三愛自動車京都	5()
7	544 辻岡 伸哉	兵庫/関西学院大	6()	7	513 岡野 篤	兵庫/神戸市国際大	6()
8	442 藤山 豊	大阪/中央大	7()	8	237 吉川 航介	京都/龍谷大	7()

内容部



フッタ部分

見出し部

凡例・DNS・大 場

ラップタイム印刷例

	予 選	予 選	予 選
組	1	2	3
400m	443	646	58
	55.4	56.3	53.8

見出し部 (組, 予選)

内容部 (タイム)

コンディション印刷例

記録リスト

第41回 マット陸上競技選手権大会
 兼 第3回 日本陸上競技選手権大会地区予選会
 主 催:(財)日本陸上競技連盟
 主 管:大阪陸上競技協会
 競技場:大阪市長居陸上競技場

見出し部

グラウンド・コンディション

日付	時刻	天候	気温℃	湿度%	風向	風速 m/s	気圧	場所
04/04/01	10:00	晴れ	20.0	55.0	北東	0.6	1013.0	競技場
	11:00	晴れ	21.6	55.0	東	1.6	1013.0	
	12:00	晴れ	23.0	55.0	東	0.2	1013.0	
	13:00	晴れ	24.0	55.0	北東	0.3	1013.0	
	14:00	晴れ	25.0	53.0	東北東	0.1	1013.0	
	15:00	晴れ	23.6	54.0	北東	1.7	1013.0	
	16:00	晴れ	23.0	54.0	北東	0.4	1013.0	

その他

総務
 審判長
 記録主任

設定が終われば、《OK》ボタンをクリックすることで、設定を保存して終了します。



5.コンディション

陸上システムのコンディションマスターに登録した気象状況データを印刷することができます。
コンディション出力設定画面

1) 印刷選択

空欄 : 気象情報の入っていない、枠のみのグランドコンディション表を印刷します。
結果 : コンディションマスターに登録された気象状況データを印刷します。

2) 出力設定

大会名称付加 : 大会名・主催・協賛・競技場名などの固定情報に登録されている情報を印刷します。
サイン欄付加 : 審判長、記録主任などのサイン欄を印刷します。
ロードレースバージョン : ロードレースにおいて、コースコンディションとして各地点の気象状況を入力している場合に、競技場のコンディションとは別表にして印刷することができます。
英字付加 : 国際競技会の場合など大会名称以外の項目を英語と日本語の両方で表示します。
気圧欄印刷指示 : 表に気圧欄を付けて印刷します。
マージン設定(mm) : 用紙の左、右、上、下の余白をミリ単位で指定します。設定するには、直接数値を入力します。
フォントサイズ% : 気象状況内容部分のフォントサイズを%単位で指定します。設定するには、直接数値を入力します。
サイン欄位置 : サイン欄を付加する設定にした場合、サイン欄を表のどの位置に印刷するかを設定します。

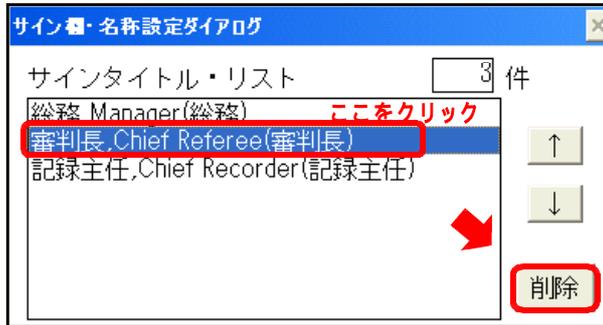


サイン設定

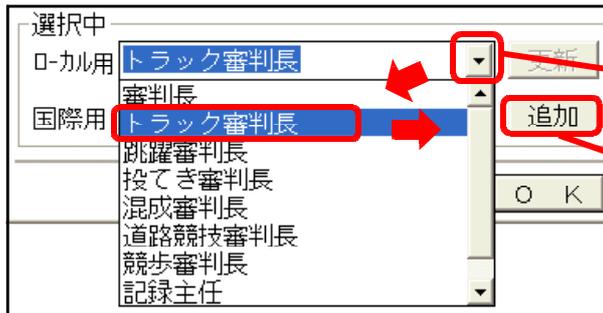
総務、審判長、記録主任など印刷するサイン欄を設定します。

例) サイン欄「総務、トラック審判長、フィールド審判長、記録主任」を設定する場合。

《サイン設定》ボタンをクリックし、サイン欄・名称設定ダイアログを開きます。



まず、不要な「審判長」を削除します。サインタイトル・リストから「審判長, Chief Referee(審判長)」を選択し、《削除》ボタンをクリックします。「審判長」の項目がリストから消えます。



「トラック審判長」をリストに追加します。画面下部の選択中欄のローカル用プリセット《 》をクリックして、表示されたリストの中から「トラック審判長」を選択します。

選択後、《追加》ボタンをクリックすると、サインタイトルリスト部分に追加されます。(この時、選択した内容の一部を変更すると、《更新》ボタンが表示され、これをクリックすることで登録内容の変更ができます。)



「フィールド審判長」をリストに追加します。と同様にローカル用プリセットの《 》から選択しようとするのですが、「フィールド審判長」という項目が無いので、選択できません。

このような場合、ローカル用と国際用のサインタイトルが表示されるところに直接キーボードから「フィールド審判長」、「Field Ev. Ref(フィールド審判長)」などを入力して、《追加》ボタンをクリックし、サインタイトルリスト部分に追加します。



リストの順番を変更します。「総務、記録主任、トラック審判長、フィールド審判長」の順を「総務、トラック審判長、フィールド審判長、記録主任」の順に変更します(この順にサイン欄が印刷されます)。



サインタイトルリストの「トラック審判長」を選択し、すぐ右側にある《 》ボタンを一度クリックします。



トラック審判長と記録主任の位置が変わります。同様に、「フィールド審判長」を選択し、《 》ボタンを一度クリックして記録主任と並び替えます。

画面下部にある《OK》ボタンをクリックすれば登録完了となります。コンディション出力設定画面に戻ります。

並び替わった



3) 予定設定

- 出力欄行数 : 1)印刷選択で「空欄」が選択されている場合に、何行枠を印刷するかを設定します。直接数値を入力します。
- コース用出力欄行数 : 1)印刷選択で「空欄」が選択されており、2)出力設定で「ロードレージョン」が選択されている場合に、コースコンディション欄を何行印刷するかを設定します。直接数値を入力します。

4) 出力選択

陸上システムのコンディションマスターにコンディション情報が登録されている場合、「出力選択」欄に、登録されているコンディションの観測時刻が自動的にセットされます。1)の「印刷選択」が「結果」を選択している場合、この「出力選択」欄に表示されているコンディション情報が印刷されます。

登録されている全てのコンディション情報を印刷する場合は、そのまま《印刷開始》ボタンをクリックして印刷を実行して下さい。

必要なコンディション情報のみ選択して印刷する場合

例) 4月1日と2日の両日のコンディション情報から2日の情報のみ印刷したい。

出力選択欄から、印刷したくないもの(この場合、4月1日の情報)を、【Ctrl】キーを押しながらクリックして選択します。

【Ctrl】キーを押しながら順に選択する。
(この他、【Shift】キーを押しながら選択すると範囲選択を行うことができます。)

選択ができれば、入力データ欄と出力選択欄の間にある「<<」ボタンをクリックします。4月1日のデータが「入力データ」欄に移動します。

「<<」ボタンをクリックすると選択されていたデータが「入力データ欄」に移動する。

誤って必要なデータまで移動してしまった場合、もう一度その項目を選択して「>>」ボタンをクリックすることで再び「出力選択」欄に戻すことができます。

「出力選択」欄に4月2日のデータのみが残り、この情報のみが印刷されます。



6. レース選択とレース日時設定画面

ここでは、選択された競技のどのラウンドを印刷するかを設定します。

A. 全競技共通の設定

**1) ラウンド
選択**

予選 6 組 2 着 + 4

2RD 組 着 +

準決勝 2 組 4 着 + 0

決勝 予定強調

2) レース選択

レース開始時間

予選	1組	8人	04/01	10:00	1P	番組
予選	2組	8人	04/01	10:00	1P	番組
予選	3組	8人	04/01	10:00	1P	番組
予選	4組	8人	04/01	10:00	1P	番組
予選	5組	8人	04/01	10:00	1P	番組
予選	6組	8人	04/01	10:00	1P	番組
準決勝	1組	8人	/	:	1P	予定
準決勝	2組	8人	/	:	1P	予定
決勝		8人	/	:	1P	予定

**3) レース日
時・ページ設定**

準決勝 1組 8人

日付

スタート

ページ

ページ数

1) ラウンド選択

印刷したいラウンド名の先頭にある「」チェックボックスをクリックして、チェックを付けることで2)のレース選択欄にレースが表示されます。

「2RD」および「準決勝」にチェックを付ける場合は、先に「組」「着」「+」のそれぞれの「」に該当する数値を入力する必要があります。

フィールド競技の場合の予選標準記録や左右分割、決勝人数の設定については『C. フィールド競技の場合のオプション設定』を参照して下さい。

「予定強調」については、『B. トラック競技の場合のオプション設定 - 1) 決勝ラウンドの「予定強調」』を参照して下さい。

2) レース選択

レース開始日時や配置ページ、ページ数は組ごとに設定する必要があります。設定は、このレース選択欄で設定する組を選択して、3)のレース日時・ページ設定欄に現在入力されている値が表示されたものを編集します。3)レース日時・ページ設定欄で編集が終わった後、もう一度このレース選択欄をクリックすると、変更が反映されます。

3) レース日時・ページ設定

レース開始日時、配置ページ、ページ数について組ごとに設定します。

準決勝 1組 8人

日付 04 04 01

スタート 13 00

ページ 1

ページ数 1

2)のレース選択欄で組を選択すると、このエリア内に値が表示されます。

・日付：レース開始年月日（最初の から）西暦下2桁、月2桁、日2桁

・スタート：スタート時刻（最初の から）時2桁（24時間）分2桁

・ページ：組数が多く1ページでは収まりきれない場合、2ページ目以降に配置することができます。

・ページ数：ある1組の出場人数が、「1. 項目設定」の「7) ページ最大行数設定」の値を超える場合、2ページ以上に分割することができます。分割したいページ数をここに入力します。

4) 印刷開始ボタンとCancelボタン

印刷開始ボタン：1)～3)の設定を元に自動的にレイアウトされ、次の印刷設定画面に進みます。

Cancelボタン：1)～3)の設定を取り消し、版下作成メイン画面に戻ります。

ラップボタン：『B. トラック競技の場合のオプション設定』を参照して下さい。



B. トラック競技の場合のオプション設定

1) 決勝ラウンドの「予定強調」(リレーを除く)

まだ決勝の番組編成を行っていない状態(「予定」状態)で、決勝ラウンドの枠を作成する場合、「予定強調」を選択することができます。

「予定強調」の場合の決勝枠

決 勝				風: +/- .	
レーン No.	氏 名	所 属	順位	記録	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

「予定強調」なしの場合の決勝枠

決 勝				風: +/- .	
レーン No.	氏 名	所 属	順位	記録	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

2) ラップタイム欄の印刷(中長距離種目のみ)

中長距離種目では、「ラップ」ボタンが表示されます。レースが番組または予定の場合は、ラップタイムを記入する枠が印刷されます。



レースが完了していて、ラップタイムが入力されている場合はラップタイム表を印刷することができます。

《ラップ》ボタンをクリックします。

ラップタイム設定ウィンドウが表示されます。

ラップタイム選択欄から印刷したい距離を選択し、中央の《追加》ボタンをクリックすると印刷するラップ欄にその距離が表示されます。誤って追加してしまった場合は《削除》ボタンをクリックすることで削除することができます。

レースが完了していてラップタイムが入力されている場合は、すでに印刷するラップ欄に距離が選択されています。

ラップ印刷位置を設定します。

「ページ」からラップタイム欄を印刷するページを選択し、そのページの「先頭」に印刷するか「後尾」に印刷するかを選択します。

《OK》ボタンをクリックして、もとの画面に戻り、通常通り印刷を行うとラップタイム欄が印刷されます。



C. フィールド競技の場合のオプション設定

1) 共通の設定

男子 走高跳

予選通過標準記録・配置・決勝人数設定 レース選択

レース開始時間

<input checked="" type="checkbox"/> 予選	2組 標準記録	175	cm	<input checked="" type="checkbox"/> 予選	1組	12人	04/01	10:00	1P	番組
<input checked="" type="checkbox"/> 決勝	<input type="checkbox"/> 予選・左右分割	<input type="text" value=""/>	人	<input type="checkbox"/> 予選	2組	12人	04/01	10:00	1P	番組
				<input type="checkbox"/> 決勝	決勝	15人	04/01	13:00	1P	予定

予選	1組	12人					
日付	04	04	01				
スタート	10	00					
ページ	1			高さ数	3		
ページ数	1						

試技高さ	165	170	175				

印刷 Cancel

ラウンド選択

印刷したいラウンド名の先頭にある「」チェックボックスをクリックして、チェックを付けることで、そのレース選択欄にレースが表示されます。

レース選択

印刷するページやページ数を設定することができます。

特に番組状態の時は、詳細情報を設定するために選択します。予選の場合、標準記録、高さ数、試技高さを入力するため、決勝の場合、決勝人数、高さ数、試技高さを入力するために選択する必要があります。

予選通過標準記録（番組時のみ） 予選左右分割配置、決勝人数（予定時のみ）

・予選通過標準記録は、予選レースの状態が「番組」のときのみ有効です。

例）男子走高跳 予選2組（3回目の高さ 通過標準175cmの時）

通過標準記録を入力 レース開始時間 まずレースを選択

標準記録	175									
<input checked="" type="checkbox"/> 予選・左右分割	<input type="checkbox"/> 予選	1組	12人	04/01	10:00	1P	番組			
	<input type="checkbox"/> 予選	2組	12人	04/01	10:00	1P	番組			
	<input type="checkbox"/> 決勝	決勝	15人	04/01	13:00	1P	予定			

・予選左右分割配置は、1組を右側、2組を左側といった具合に横に並べて印刷することができます。

予選通過標準記録はここに印刷される

男子 走高跳

			予選1 (175)	4月 1日	10:00
			予選2 (175)	4月 1日	10:00
			決勝	4月 1日	13:00

日本記録(NR) 2m32 君野 貴弘 (順天堂大学・東京) 1993
 近畿記録(KR) 2m28 氏野 修次 (近大和歌山高教・大阪) 1984
 2m28 井上 基史 (筑波大学・奈良) 1987
 2m28 野中 悟 (エントレスAC・京都) 1993

予選 (通過標準記録: 1m75)

1組							2組							
順位	氏名	所属	1m65	1m70	1m75	記録	順位	氏名	所属	1m65	1m70	1m75	記録	順位
1	山根 豊介	奈良 唐崎山大					1	岡本 和洋	奈良 唐崎山大					
2	奥井 聡博	大阪 大医歯大					2	三輪 壮志	大阪 大医歯大					
3	藤原 孝一	京都 野田川クラブ					3	本多 光一郎	兵庫 神戸大					
4	藤巻 颯馬	兵庫 藤原大					4	藤巻 颯馬	兵庫 藤原大					

予選左右分割の場合、1組2組が並べて印刷される



- ・決勝人数は、予選ラウンドが設定されており、決勝の番組がまだ行われていない段階で決勝の枠を印刷する場合に、何人分の決勝枠を印刷するかを指定します。
一般的に決勝の人数は12人又は15人ですのでこの値を設定すればよいでしょう。

2) 高さ競技のみの設定

高さ数と試技高さの設定

高さ数は、プログラムの場合試技内容を記入するための枠の個数、結果の場合横方向にいくつ高さを印刷するかを決める最大値を設定します。

試技高さは、レースの状態が予定または番組の時のみ有効で、あらかじめ注意事項などでパーの上げ方が決まっている場合にまえて高さを入力して印刷することができます。

男子 走高跳

レース開始時間 **まずレースを選択**

予選 2組 標準記録 175 cm

予選・左右分割

決勝 人

予選	1組	12人	04/01	10:00	1P	番組
予選	2組	12人	04/01	10:00	1P	番組
決勝		15人	04/01	13:00	1P	予定

予選 1組 12人

日付 04 04 01

スタート 10 00

ページ 1 高さ数 3

ページ数 1

試技高さ 165 170 175

高さを入力

高さを入力

印刷すると3つ高さの枠ができる

順位No.	氏名	所属	1m65	1m70	1m75	記録	順位
1	山根 真介	奈良 帝塚山大					
2	長井 昭博	大阪住吉大					
3	藤原 孝一	京都 野田川クラブ					
4	濱名 慶匡	兵庫 順天堂大					
5	山本 夢	滋賀 大津高					

3) 高さ競技以外の設定

決勝で番組された高さ競技以外のフィールド種目の試技数枠を6回または3回から選択することができます。記録会などで、試技を3回で終了してしまうという場合、印刷される枠の数を制限することができます。

プルダウンから《6回》又は《3回》を選択します。

予選 標準記録 cm

予選・左右分割

決勝 人

6回
6回
3回

